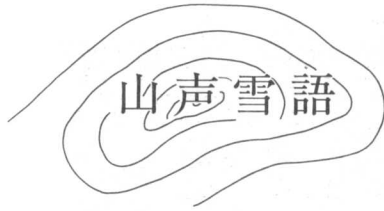


京交山岳部報

例会・行先	日程・集合	担当者	コース
第2713回 奥美濃の残雪 取立山(△1,307.2)	3月14日(土)～15日(日) 集合 竹田駅西口 AM8:00	井戸 澄夫	14日 京滋・名神・北陸道一福井北IC—ジャム勝山(午後スキー)—民宿(泊) 15日 民宿…取立山往復…入浴・帰路
備考 マイカーで行きます。「いわなや」に泊まります。希望者は担当者まで連絡ください。			
第2714回 三草山(564.0m)	4月7日(火) 集合 参加者で決定 AM8:00	吉田 武	京都—沓掛IC—亀岡IC—R372稗田野—R477本梅—倉垣—能勢町神山—三草山登山口—三草山往復—能勢町神山—京都
備考 マイカーで行きます。希望者は担当者まで連絡ください。			
3月の集会(総会) 日時 3月18日(水)18:30～ 場所 「かもがわ」(雑報参照)		3月の企画運営委員会 日時 3月11日(水)18:30～ 場所 holly's café(ホリーズカフェ)	
4月の集会(総会) 日時 4月8日(水)18:30～ 場所 holly's café(ホリーズカフェ)		4月の企画運営委員会 日時 4月22日(水)18:30～ 場所 holly's café(ホリーズカフェ)	



吉 田 武

今冬の寒さと積雪は、今までになく厳しいものでしたが、3月ともなれば虫も土の中から這い出してくるように山歩きにはよい季節になってきました。

年度かわりのこの時期は、退職・人事異動・就職・入学・進学・卒業と何かあわただしく感じますが、またステップの時期でもあります。山岳部も今1度、羽ばたこうではありませんか。今年度総会でも各人、山に対する思いがあると思います。昨年、僕は低山ばかりをたくさん登りましたが、それも比較的時間のかからない山ばかりでしたが楽しいものです。

ところが最近の里山は鹿や猪の害（果樹や農作物を食い荒らす）が多いので、各所に柵がしてあります。特に北摂地方ではすべての山に柵があります。門扉もありますが、鍵がかかっているところもあり、低山といえども、登れずに帰る時があります。昨年あたりからテレビで深田久弥さんの「日本百名山」や、田中陽希さんの「グレートトラバース」1筆書き百名山を再放送していますが、思い出に残る百名山は、大朝日岳とトムラウシ山と思います。特に大朝日岳は泡滝ダムの登山口から雨が降っていたが、七ツ滝コースのルートを選び登りました。雨にぬれ、滝にぬれて体が冷えて大鳥池から以東岳の尾根コースで足がつって、コースタイムを倍以上の時間をかけて登ったことが思い出されます。今年度も身の丈位の山に登ろうと思っています。山歩きの楽しい時期になりました。初心に帰って楽しい山行をしましょう。

【第2709回例会報告】

初登山 櫃ヶ岳

清水 康裕

何年連続か。今年も雪のある初登山になった。(昨年の鞍馬山は少し雪を見ただけだったか。)車は2台で岡田茂久さんの車と岡本義弘さんが息子さんから借りていただいた車だ。義弘さんの家に京交山岳部の装備をたくさん預かっていただいていたので、今回山岳部の大きなコッヘルを義弘さんに持ってきていただき、ゼンザイを作る鍋となった。

「羊」の字がつく山は遠く、なかなか行けないので、近くで大勢参加しやすい山で「羊」の代わりに「櫃」を洒落たと思っていたが、そうではなかった。丹波篠山の古文書に櫃ヶ岳は「羊ヶ嶽」と書かれていると慶佐次盛一さんが「兵庫丹波の山(ナカニシヤ出版)」の本で書いておられるそうである。山頂で大槻さんに教えてもらった。未年の吉田さんの掛け声で万歳三唱した。恒例のゼンザイを食べた。ゼンザイ監督のおかげか毎年おいしい。

下山は登りと違うルートを選び、結局ぐるっと一周して公民館まで帰るルートになる。水平距離で500mくらい下ると分岐があると思ったが、なかなか分岐に着かない。義弘さんが「尾根道が再び登りになる手前に分岐がある。」と言われたとおりに分岐が出現した。あとは公民館までわかりやすかった。

京都へ帰る途中、知る人ぞ知る烟河(けぶりかわ)の温泉に浸かった。

【参加者】井戸澄夫、大槻雅弘、岡田茂久、岡本義弘、方山宗子、堀田剛、
森本清一、吉田武、鷺見壽末子、渡辺智生、清水康裕

【コースタイム】2015年1月12日(祝・月)

8:05烏丸五条—8:15大槻さん乗車—8:35沓掛IC—9:00丹波IC—瑞穂GC—9:30宮代公民館「ひつヶ嶽の里」9:50…10:50峠…尾根道…11:10櫃ヶ岳山頂 二等三角点582m 12:15…12:40分岐…13:20公民館13:40—14:10湯ノ花温泉 里山の休日「京都烟河」で入浴15:20—16:00西大路五条



山頂で記念撮影



山頂で恒例のゼンザイを食す

【第2710回例会報告】

梅池スキー

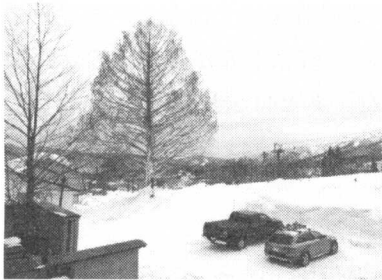
吉 田 武

雪を見るとやはりスキーに行きたくなるのは、僕だけではなさそうで、1月の中ごろに僕自身、前立腺肥大と膀胱結石のオペを市民病院でやってもらった後なので温泉に行くつもりで梅池まで行った。

1日目は道中快晴で昼過ぎにホテルに着き各自スキーに行く。ゴンドラで梅の森まで登り何度かすべったようだ。僕はのんびりと温泉に浸かりごろ寝をしながらビールを飲んでいて。

2日目は僕以外は1日券でスキーに行ったが、僕はJR大糸線に乗って松本駅まで行き、松本城を見学した。当初、1時間位で松本駅まで行けると思っていたが、2時間かかった。さすがローカルだ。10時過ぎにホテルを出たので往復の時間を入れると、1時間くらいしか松本市内を見学できなかった。ホテルに帰るとほかの人は既に帰っていた。早速、温泉に浸かってキャンパイ。

3日目は猛吹雪のためにスキーを止めて北陸道から帰路に着いた。



[日 程] 1月29日～31日

[参加者] 渡辺智夫、大槻雅弘、鷺見壽未子、岡本義弘、吉田 武

例 会 報 告

例会 No	目的地	天候	月 日	担当者	参加者	記 事
2709	初登山 櫃ヶ岳 (3等△582.1)	晴	1月12日(月)	清水 康裕 堀田 剛	渡邊 智夫 吉田 武 岡田 茂久 大槻 雅弘 鷺見壽未子 方山 宗子 岡本 義弘 森本 清一 井戸 澄夫	別稿詳報
2710	梅池スキーツアー	曇 雪	1月29日(木)) 1月31日(土)	吉田 武	大槻 雅弘 岡本 義弘 渡邊 智夫 鷺見壽未子	別稿詳報

平成27年 新年会（兼1月集会）報告

日 時 1月9日（金）18：30～
場 所 「かごの屋」四條烏丸下る地下鉄四條駅6番出入口前 TEL 353-8936
出席者 井戸 澄夫, 大倉寛治郎, 大槻 雅弘, 岡田 茂久, 方山 宗子,
小森 浩, 堀田 剛, 松田 誠二, 森本 清一, 山下 幸宏,
吉田 武, 鷺見壽末子, 渡辺 智生, 和田 良一, 清水 康裕（15名）

《部長挨拶》

（清水）謹賀新年。昨年は創部65周年であった。夏は国内記念登山の乗鞍岳、秋には海外記念登山のヒマラヤトレッキングが開催された。どれも皆さんのご協力を得て、なんとか山岳部を運営できた。特に井戸さんには部報を編集していただき、5月号からは順調に発行できている。ありがたく思っている。また、昨年一年間、事故もなく過ごせて良かった。今年は羊年。最近わかった話であるが、「羊」の字の付く山は少ないが、部首の「羊」が名前に含まれる山は結構あるのではないか。そう言えば「美」や「義」の字には部首の「羊」が含まれる。その路線もおもしろいかもしれない。

OBと現役が一緒になって今年もまた運営していきたい。よろしくお願いします。

《乾杯音頭》

（森本）乾杯！

《今年の抱負》

（森本）女房の具合が悪いが、例会にチョコチョコ参加したい。よろしく。

（渡辺）昨年はヒマラヤで暮れた。トボトボとマイペースで行きたい。

（和田）久しぶりに皆さんの顔を拝めた。昨年、入院して体調が悪かった。体力を回復するため、低い山から登りたい。

（大槻）まず、自慢話。国土地理院しか登ってない一等三角点を登った。奄美から船で3時間半ほどかけて行く離島の横当島にある。日本経済新聞文化欄に掲載された。それから、4月28日～30日くらいに岡田茂久さんの喜寿のお祝いに岡田山を例会に出したい。広島県の山で、一等三角点がある。

（鷺見）今も山が好きだ。原点は京交山岳部だとずっと思っている。昨年末に80歳を迎えた。年がいない生き方を元気にしていきたい。

（井戸）例年は月1回くらい例会に参加していたが、昨年は9回例会止まりとなった。仕事をやめて個人山行を行った。台湾玉山、東北の山、イタリアのベスピオ山、ネパールの山に登り、非常に良かった。今年は今年でいろんな所を登りたい。

（山下幸）昨年から頑張っ山に行っている。山に登るのは辛い但眺望が素晴らしく、景色を写真に収めるのが好きである。特に、富士山がよい。南アルプスの藪漕ぎをしたい。

（方山）4月に仕事を終え、フリーになって、時間が私の物になった。昨年、ヒマラヤに行き、遊覧飛行で8,000m級の山々を見て感動した。いい思い出になった。マイペースの山行していきたい。

（岡田茂）昨年は良い事と悪い事があった。良い事はヒマラヤトレッキングに行ったことである。悪い事はダニにやられて外科に行った事と、加齢のせい、足の裏に大きなカサブタができた。油分や潤いが足らんのか、オリーブ油やワセリンを塗ると治った。花粉症になったり、指が痛くなったりしたのも加齢のせい。昨年登った山が42山になりそうだったが、数が不吉なので、年末あわてて1

つ登って43山にした。今年は原点である京交山岳部の例会を中心に参加して、45の山行きをしたい。

（小森）一昨年まで元気だったが、昨年腰をいわした。腰が痛いのは、体重が重たいせいかなあ。今年は例会に参加して減量していきたい。

（吉田）今年で72歳になる。69歳で仕事をやめて低い山ばかり220山登っている。大日に登ったときは迷惑をかけた。年がいつてきて弊害が出てきたけれども、1,000m弱の高さの山は登れた。市立病院で肺活量を測ったら2,700しかない。低山を少しずつ登っていることが生き甲斐である。カメラが好きで写真撮影し、ゴルフをし、アルコールを飲んで、孫の面倒をみて、この年齢ぐらいでやれることを背伸びせずやっていきたい。今年も梅池スキーに行く。家に籠らず山へ行く。

（大倉）昨年、人生最大の危機を迎えた。心房細動が2月末に分かり3月に京大病院を紹介してもらった。7月30日に手術してもらい、1週間で退院のところ、左足がばい菌で腫れ、疑似性痛風になって退院が延びた。その後、体調が良くなり、体重も減り1,000mの山も登れた。去年は人形山を登った。呼吸が楽にできるようになり、こんなに空気がおいしいものかと思った。剣道も復活した。

山が登れる自信ができたので、できるだけ京交山岳部で山を登り、剣道と共に、両輪のように空回りしないように続けていきたい。

（堀田）森本さん、鷺見さんは80歳を超えているが、もの凄い。昨年、あまり山に行っていなかった。タバコをやめて太った。小森さんのことは言えず、私も山登りで体重を減らさないといけない。新年の抱負として、京交山岳部を盛りたててやっていきたい。

（松田）仕事がたいへん忙しい。子育てはすでに終わり、孫がもうそろそろのようだ。今年は何とか山に行きたい。

（清水）昨年の抱負で京交山岳部、職場、自宅を整理整頓して幸運を呼び込みたいと言っていたが、人事異動で新しい職場で疲れしまい、できずじまいになっている。今年こそ、やっていきたい。

